



令和3年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和2年11月11日

上場会社名 新潟交通株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9017 URL <http://www.niigata-kotsu.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 星野 佳人
 問合せ先責任者（役職名） 経理部長（氏名） 保坂 健一 TEL (025)246-6327
 四半期報告書提出予定日 令和2年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 令和3年3月期第2四半期の連結業績（令和2年4月1日～令和2年9月30日）

(1) 連結経営成績〔累計〕

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期 第2四半期	6,047	△37.1	△1,113	—	△1,119	—	△832	—
2年3月期 第2四半期	9,608	△2.1	797	△1.8	644	8.2	431	18.8

（注）包括利益 3年3月期第2四半期 △834百万円（—％） 2年3月期第2四半期 428百万円（19.3％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年3月期 第2四半期	△216.64	—
2年3月期 第2四半期	112.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
3年3月期 第2四半期	56,083	16,697	29.8	4,345.76
2年3月期	55,175	17,570	31.8	4,572.84

（参考）自己資本 3年3月期 第2四半期 16,697百万円 2年3月期 17,570百万円

2. 配当の状況

(基準日)	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年 3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
3年 3月期	—	0.00	—	—	—
3年 3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和3年3月期の連結業績予想（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	12,670	△32.1	△2,100	—	△2,200	—	△1,870	—	△486.69	

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

3年3月期2Q	3,864,000株	2年3月期	3,864,000株
---------	------------	-------	------------

② 期末自己株式数

3年3月期2Q	21,836株	2年3月期	21,726株
---------	---------	-------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

3年3月期2Q	3,842,208株	2年3月期2Q	3,842,457株
---------	------------	---------	------------

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	8
(セグメント情報)	8

1.当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響等により個人消費・生産活動が停滞し、極めて厳しい状況で推移しました。先行きについては、社会経済活動の段階的な再開により持ち直しの動きが期待されるものの、依然として不透明な状況となっております。

こうした事業環境の中、当社グループではお客様や従業員に対する感染防止対策を徹底しながら、グループ一丸となって事業を展開しました。その結果、足元では需要回復の兆しが見られましたが、前年度水準までの回復には至らず、すべての事業において前年同期比減収となりました。

当第2四半期連結累計期間の総売上高は6,047百万円(前年同期比37.1%減)、営業損失は1,113百万円(前年同四半期は営業利益797百万円)、経常損失は1,119百万円(前年同四半期は経常利益644百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は832百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益431百万円)となりました。

セグメントの業績の概況は、次の通りであります。

○運輸事業

一般乗合バス部門では、お客様が安心してご利用できるよう新型コロナウイルス感染防止対策を徹底するとともに、マイクロツーリズム需要の喚起と地域経済の早期回復を目的とした1日乗車券「ぶらばすチケット」の販売等により、バス利用の促進に努めました。しかしながら、外出自粛等による利用者減少により、一般乗合バス部門全体では前年同期比減収となりました。

高速バス部門では、県外高速バスにおいて一部路線で期間運休を行っていましたが、6月19日より全線での運行を再開しました。また、抗ウイルス・抗菌効果が期待される「光触媒コーティング」の施工等によりバス車内の衛生対策を進めましたが、高速バス部門全体では前年同期比減収となりました。

貸切バス部門では、修学旅行や「GoTo トラベルキャンペーン」を活用した日帰りツアーの催行等により車両の稼働率は徐々に上向いておりますが、前年同期比減収となりました。

この結果、運輸事業の売上高は2,737百万円(前年同期比38.8%減)となりました。

○不動産事業

万代シティの賑わい創出のため、感染防止対策を徹底した上で屋外イベントの開催を再開しました。また、バスセンタービルにおいては9月に新潟県初出店となる新店舗を誘致する等、街区の魅力向上に努めましたが、テナント賃料減免対応や外出自粛による来街者減少の影響等により、賃料収入は前年同期比減収となりました。また、駐車場利用台数の減少により、駐車場収入も前年同期比減収となりました。

この結果、不動産事業の売上高は1,296百万円(前年同期比8.4%減)となりました。

○商品販売事業

観光土産品卸売部門では、相次ぐイベント中止や旅行・帰省の自粛等の影響に伴い各種土産品の売上が低調に推移したこと等により、前年同期比減収となりました。

この結果、商品販売事業の売上高は719百万円(前年同期比43.1%減)となりました。

○旅館事業

新潟市内の「万代シルバーホテル」、佐渡市内の「国際佐渡観光ホテル八幡館」とともに、「GoTo トラベルキャンペーン」の実施に伴う宿泊需要回復の兆しが見られましたが、引き続き、宿泊・宴会需要が低迷し、売上高は前年同期比減収となりました。

この結果、旅館事業の売上高は300百万円(前年同期比69.0%減)となりました。

○その他事業

旅行業では、個人・小グループ向け宿泊プランの造成や、7月からの募集型企画旅行(くれよん)のバスツアー再開等により旅行需要の回復に努めたことと併せて、延期となっていた修学旅行を順次実施しました。しかしながら、受注型旅行(一般団体)の取扱いが低迷した影響等により、前年同期比減収となりました。

広告代理業においては、新型コロナウイルス感染症に伴う広報宣伝活動の縮小やイベント中止等の影響に伴い受注が減少したこと等により、前年同期比減収となりました。

航空代理業においては、国内・国際線ともに運休便の発生に伴い業務受託手数料が減少したこと等により、前年同期比減収となりました。

清掃・設備・環境業においては、設備部門において前年同期に受注した大ロスポート収入の反動減や、環境部門における古紙・金属くず等のリサイクル品の価格低下の影響等により、前年同期比減収となりました。

この結果、その他事業全体の売上高は993百万円(前年同期比33.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及預金や有形固定資産が増加したこと等により、前期末に比べ907百万円増加し、56,083百万円となりました。

負債は、短期借入金の増加などにより、前期末に比べ1,780百万円増加し、39,386百万円となりました。

また、純資産は、利益剰余金の減少などにより、前期末に比べ872百万円減少し、16,697百万円となり、自己資本比率は29.8%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和3年3月期の通期の連結業績予想につきましては、令和2年8月11日に公表した業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和2年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,762,485	1,881,016
受取手形及び売掛金	909,885	933,307
商品及び製品	204,722	183,160
原材料及び貯蔵品	133,995	132,678
その他	343,200	271,251
貸倒引当金	△8,308	△8,637
流動資産合計	3,345,980	3,392,776
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,245,672	9,002,449
土地	36,851,833	36,835,603
その他(純額)	4,075,374	4,866,016
有形固定資産合計	50,172,881	50,704,069
無形固定資産	277,502	286,612
投資その他の資産	1,379,189	1,699,826
固定資産合計	51,829,574	52,690,508
資産合計	55,175,554	56,083,285
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	580,824	730,778
短期借入金	6,566,627	12,934,623
1年内償還予定の社債	30,000	15,000
未払法人税等	124,863	168,708
賞与引当金	149,412	189,639
その他	2,905,421	2,764,516
流動負債合計	10,357,148	16,803,266
固定負債		
社債	3,700,000	3,700,000
長期借入金	15,674,738	11,220,128
再評価に係る繰延税金負債	4,014,139	4,014,139
役員退職慰労引当金	141,714	136,028
退職給付に係る負債	432,135	426,191
その他	3,285,589	3,086,412
固定負債合計	27,248,316	22,582,899
負債合計	37,605,465	39,386,166

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和2年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,220,800	4,220,800
資本剰余金	2,946,580	2,946,600
利益剰余金	2,230,950	1,360,146
自己株式	△37,512	△37,754
株主資本合計	9,360,819	8,489,793
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9,782	△14,635
繰延ヘッジ損益	—	4,563
土地再評価差額金	8,211,834	8,211,834
退職給付に係る調整累計額	7,217	5,562
その他の包括利益累計額合計	8,209,269	8,207,326
純資産合計	17,570,089	16,697,119
負債純資産合計	55,175,554	56,083,285

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年9月30日)
売上高	9,608,482	6,047,856
売上原価	6,691,101	5,357,485
売上総利益	2,917,380	690,370
販売費及び一般管理費	2,119,856	1,804,294
営業利益又は営業損失(△)	797,523	△1,113,924
営業外収益		
受取利息	131	99
受取配当金	7,977	7,707
持分法による投資利益	760	—
保険返戻金	9,206	13,187
雇用調整助成金	—	201,092
その他	8,889	10,835
営業外収益合計	26,964	232,922
営業外費用		
支払利息	154,642	152,878
持分法による投資損失	—	1,255
資金調達費用	—	64,415
その他	25,061	19,668
営業外費用合計	179,703	238,217
経常利益又は経常損失(△)	644,784	△1,119,218
特別利益		
固定資産売却益	2,029	3,651
補助金収入	12,446	46,189
特別利益合計	14,475	49,841
特別損失		
固定資産売却損	2,028	1,690
固定資産除却損	2,336	4,061
移転補償金	3,143	—
新型コロナウイルス感染症対応による損失	—	64,952
その他	252	12,730
特別損失合計	7,760	83,434
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	651,499	△1,152,812
法人税、住民税及び事業税	212,969	23,057
法人税等調整額	6,559	△343,487
法人税等合計	219,529	△320,430
四半期純利益又は四半期純損失(△)	431,970	△832,381
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	431,970	△832,381

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	431,970	△832,381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,551	△4,852
繰延ヘッジ損益	2,404	4,563
退職給付に係る調整額	△3,741	△1,655
その他の包括利益合計	△3,888	△1,943
四半期包括利益	428,081	△834,325
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	428,081	△834,325
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成31年4月1日至令和元年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸事業	不動産事業	商品 販売事業	旅館事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	4,474	1,414	1,263	971	8,124	1,484	9,608	—	9,608
セグメント間の内部 売上高又は振替高	79	212	27	11	332	341	674	△674	—
計	4,554	1,627	1,291	983	8,456	1,826	10,282	△674	9,608
セグメント利益又は 損失(△)	△152	605	79	74	606	188	795	2	797

(注) 1. 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行業、広告代理業、航空代理業、清掃・設備・環境業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自令和2年4月1日至令和2年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸事業	不動産事業	商品 販売事業	旅館事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,737	1,296	719	300	5,053	993	6,047	—	6,047
セグメント間の内部 売上高又は振替高	57	201	9	5	274	243	518	△518	—
計	2,795	1,498	729	306	5,328	1,237	6,566	△518	6,047
セグメント利益又は 損失(△)	△1,192	568	△53	△284	△961	△148	△1,109	△4	△1,113

(注) 1. 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行業、広告代理業、航空代理業、清掃・設備・環境業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結累計期間において、報告セグメントとしておりました「清掃・設備・環境事業」は、量的基準を満たさなくなったため、当第2四半期連結会計期間より、報告セグメントから除外し「その他」に含んでおります。